

保健学専攻修士課程（看護・助産学コース）カリキュラムマップ

		凡例	科目区分	修士課程（助産学科目） 必修科目	修士課程（看護学分野） 必修科目	修士課程（看護学分野） 選択科目	修士課程（共通科目） 必修科目	修士課程（共通科目） 選択科目	研究指導	
			(再掲は薄色表示)	修士課程（助産学科目） 必修科目	修士課程（看護学分野） 必修科目	修士課程（看護学分野） 選択科目	修士課程（共通科目） 必修科目	修士課程（共通科目） 選択科目	研究指導	
学年		修士1年生				修士2年生				
学修目標	修士課程ディプロマポリシー	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	
D-1. 実践	チーム医療の中で助産師の役割および助産師の自律性や責任を認識し、リーダーシップを発揮することができる。				助産管理Ⅰ	助産学実習Ⅳ		基礎助産学Ⅲ		
					助産管理Ⅱ					
									看護組織・マネジメント論	
							国際社会とチーム医療			
										医療安全管理学
							看護学特別研究			
	様々なライフステージにある女性とその家族を対象に、性と生殖の健康に関わる課題を目的とした科学的根拠に基づく創造的で豊かな実践を展開することができる。				助産学実習Ⅰ		基礎助産学Ⅱ			
					助産学実習Ⅱ		助産学実習Ⅲ			
							助産学実習Ⅳ			
							看護学特別研究			
	高度先進技術に関する知識を理解し、臨床で実践できる。					助産診断・技術学Ⅴ	基礎助産学Ⅱ			
							助産学実習Ⅳ			
						先端医療論				
C-2. 評価・創造	助産・母子保健領域に関する現象から得られた情報を分析・統合し、改善への展望を考察することができる。			助産学実習Ⅰ		助産学実習Ⅲ				
				助産学実習Ⅱ		助産学実習Ⅳ				
					助産管理Ⅰ					
					助産管理Ⅱ					
									看護組織・マネジメント論	
							看護学特別研究			
	助産・母子保健領域で起こる現象の多様な課題を明確化し、科学的・論理的思考に基づいて、解決に向けた研究を遂行することができる。	看護研究方法論Ⅰ								
		看護研究方法論Ⅱ								
		発達看護学特論Ⅰ							発達看護学特論Ⅱ	
		保健学研究論								
							看護学特別研究			
	C-1. 適応・分析・解釈	保健学全般に共通する論理的思考を身につけ、問題解決に必要な情報収集と集約する能力を身につける。	看護研究方法論Ⅰ							
看護研究方法論Ⅱ										
保健学研究論										
							看護学特別研究			
助産母子保健領域の基盤的なかつ包括的専門知識をもとに、現象から得られた情報を分析・解釈することができる。		助産診断・技術学Ⅰ			助産学実習Ⅰ					
		助産診断・技術学Ⅱ			助産学実習Ⅱ					
		助産診断・技術学Ⅲ								
		助産診断・技術学Ⅳ								
						看護学特別研究				
少子高齢化・情報化などの社会の変化に対し、自らの専門領域における対応のあり方について考察できる。		基礎助産学Ⅰ				助産管理Ⅰ			基礎助産学Ⅲ	
						助産管理Ⅱ				
								保健・医療とデータ科学		
						看護学特別研究				
高度化する医療領域に対応できる能力（高度実践能力：超音波診断、会陰縫合術、新生児救急蘇生法、高度生殖補助医療等）を身につける。	助産診断・技術学Ⅳ				助産診断・技術学Ⅴ	基礎助産学Ⅱ				
						助産学実習Ⅳ				
					助産管理Ⅰ			基礎助産学Ⅲ		

	助産・母子保健領域で自立して教育・指導できる。				助産管理Ⅱ					
						看護教育論				
						看護学特別研究				
	助産・母子保健領域で自立して学び、科学的・論理的に思考し、研究することができる。	看護研究方法Ⅰ								
看護研究方法Ⅱ										
保健学研究論										
					看護学特別研究					
国際的に活躍できるための基礎的能力（世界の母子保健状況の把握と分析等）を身につける。					地域母子保健Ⅱ					
					国際社会とチーム医療					
B-1. 知識・理解	助産・母子保健領域の基礎的かつ包括的専門知識や技術について理解し、説明できる。	基礎助産学Ⅰ				基礎助産学Ⅱ				
		助産診断・技術学Ⅰ			助産診断・技術学Ⅴ					
		助産診断・技術学Ⅱ				周産期の薬理学				
		助産診断・技術学Ⅲ			地域母子保健Ⅰ	地域母子保健Ⅱ				
		助産診断・技術学Ⅳ								
	助産・母子保健の研究に必要な科学的知識や方法論を理解し、説明することができる。	看護研究方法Ⅰ								
		看護研究方法Ⅱ								
		保健学研究論								
						看護学特別研究				
	助産・母子保健領域に関わる保健・医療・福祉の多様な課題を包括的に理解し、説明できる。	基礎助産学Ⅰ			助産管理Ⅰ				基礎助産学Ⅲ	
					助産管理Ⅱ					
					地域母子保健Ⅰ	地域母子保健Ⅱ				
A-2. 協働	保健医療チームの一員として、高い倫理観と国際性豊かな教養とコミュニケーション能力を養う。	基礎助産学Ⅰ				地域母子保健Ⅱ		基礎助産学Ⅲ		
						国際社会とチーム医療				
	豊かな人間性と高い倫理観を持ち、生命の尊厳と性と生殖に関する権利を擁護する態度を身につけ、対象者の心を理解する深い感性を身につける。	基礎助産学Ⅰ				基礎助産学Ⅱ		基礎助産学Ⅲ		
A-1. 主体的な学び	自ら進んで助産・母子保健領域の課題に取り込む自律性を持ち、それを広く地域や国際社会に還元することができる。					地域母子保健Ⅱ				
		発達看護学特論Ⅰ						発達看護学特論Ⅱ		
		保健学研究論				国際社会とチーム医療				
						看護学特別研究				
	様々なライフステージにある女性とその家族を対象に、性と生殖の健康増進に寄与する強い意志を身につける。	基礎助産学Ⅰ								
学修目標	修士課程ディプロマポリシー	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	
	学年	修士1年生				修士2年生				
	アセスメント・プラン	「助産学専門基礎教育」期 臨床実習前の評価			「実践・発展・統合」期 中間発表・臨床倫理審査			最終公開審査 助産師国家試験		
	研究指導体制	学生の研究課題に応じて指導教員1名、副指導教員1名を定め、ゼミ形式で、週1回程度の頻度で研究指導								